

寒河江市美術館企画展

岡本太郎

「生誕」展



2025年8月1日[金]ー22日[金]

寒河江市美術館

市民ギャラリー（フローラ・SAGAE 3階）

開館時間／10:00～19:00

休館日／8月6日(水)

主催／寒河江市教育委員会

入場無料

イベント

「生誕」特大塗り絵を完成させよう

8月3日[日] 11:00～15:00

参加無料／予約不要
制作時間 30分～1時間程度
開催時間内のお好きな時間でご参加ください。

パーツに分かれた「生誕」塗り絵にアクリル絵具、色鉛筆、クレパスを使って好きな色・好きな模様を描きましょう。最後にそれぞれが制作したパーツを合わせて1つの「生誕」塗り絵が完成します。完成した塗り絵は開催期間中展示します。

常時（開催期間中いつでもお楽しみいただけます）

川崎市岡本太郎美術館「どこでもTAROアトリエ」より 参加無料／予約不要／制作時間 30分～1時間程度

①ちょっと手ごわい？TARO塗り絵

岡本太郎の代表作「記念撮影」「クリマ」「森の掟」から好きな絵を選んで塗り絵をしましょう。塗り絵はお持ち帰りできます。

②みんなで作ろう！こどもの樹

岡本太郎の立体作品「こどもの樹」。幹からのびる枝の先には様々な感情を表した顔がついています。好きな顔を選んで自由に塗り絵をし、美術館の壁に設置された木の枝の先に貼って、大きな木を完成させましょう。



寒河江市美術館企画展

岡本太郎

「生誕」展

2025年8月1日[金]－22日[金]

寒河江市美術館

市民ギャラリー（フローラ・SAGAE 3階）

開館時間／10:00～19:00

休館日／8月6日(水)

主催／寒河江市教育委員会

入場無料



【1967年 明日の神話】川崎市岡本太郎美術館所蔵

岡本太郎（1911～1996）は、1940年代から90年代に活躍した日本を代表する芸術家です。20代でパリへ渡欧し、前衛芸術に触れ、パリ大学では民俗学を学びました。そこで築いた芸術思考は戦後の日本芸術の動向に大きな影響を与えました。また、著作「今日の芸術-時代を創造するものは誰か-」はベストセラーになり、その発言と作品は大衆を魅了しました。日本美術史においても、考古学の遺物として認識されていた縄文土器を美術的視点から造形美や空間性を評価し「縄文土器論」を発表。その結果、縄文文化は、日本美術史の源流として認知されるようになりました。

1970年に開催された大阪万博では「テーマ館」の館長に就任。万国博覧会のシンボルとして巨大モニュメント「太陽の塔」を制作しました。この「太陽の塔」は後に永久保存が決まるほどに人々から愛され、現代でも知らない人はいないほどの日本を代表する作品になりました。

そんな日本を代表する芸術家・岡本太郎の作品「生誕」が寒河江市役所に設置されています。今回の展覧会ではその「生誕」について、設置の経緯や作品に込められた岡本太郎の想いを読み解いていきます。「生誕」実寸大横断幕や代表作のパネル展示とともにワークショップイベントを開催します。岡本太郎ワールドをぜひお楽しみください。



【TARO塗り絵】

川崎市岡本太郎美術館「どこでもTAROアトリエ」より



【1950年 森の掟】

川崎市岡本太郎美術館所蔵



【寒河江市役所に設置された生誕と岡本太郎】

川崎市岡本太郎美術館 提供



寒河江市美術館（フローラ・SAGAE 3階）

〒991-0031 山形県寒河江市本町二丁目8-3

Tel 0237-77-6330

〈問合せ先〉寒河江市文化センター

Tel 0237-86-5111 / Fax 0237-86-2201

●JR寒河江駅より徒歩5分

●寒河江ICより5分 北側に駐車場あり（3時間無料）

※最新の情報は
ホームページをご確認ください。

